

## 2 クライアントのプロフィール

a) 家族的背景 Nさん 娘 息子 実弟 4人同居

\* 離婚後、都内で4人暮らし／両親は実家で2人暮らし

b) 地域社会や文化的背景の影響

東北青森で生まれ育ち、看護学校へ入学時に上京。地方特有の文化、養子縁組による実母と夫との暮らしに強い影響を受け、夢や希望を失っている。

c) 現在の家庭環境

離婚後、都内で子供を引き取り実弟と4人暮らしを始める。

d) 職歴及び仕事関連 看護師 現在療養施設にて看護の仕事

e) 既往症 特になし

f) 人生における主要な出来事の概要

- 実母の求め続ける「経済的豊かさ」に信頼を失って育つ
- 保護されている安心感が欠如、人前で緊張し表現出来ない
- 人生に、喜びや夢を見出せない
- いつでも「お金」の不安を抱えている

g) 創造的表現及び自己学習

ヨガや瞑想を取入れて内省する時間をつくっている。

h) 人生観やビジョン

生活のために稼ぐ仕事为中心で、職場の中で自分自身の湖西を生かすことから逃げてしまう癖があります。結果、自分の成長を自らストップしているの、夢や目標を設定出来ないでいます。

i) 現在抱える問題や症状。セラピーを求めて来た理由

- 心の軸をしっかりさせたい
- 直感力を磨きたい
- 看護師としてケアを通じて学びたい 以上 ご本人からの希望
- 家族に根ざした繰り返す機能不全「家族が起こすお金のトラブルに繰り返し巻き込まれる」ことの改善
- 昇進から逃げ続けてしまう恐れからの解放

全ては自分の恐れが引き起こす現象だと理解していない。

自ら奉仕の道を選んだことに、自信をつけ今のままで他者に奉仕することが喜びに感じられるように意識を変える学習が必要だと感じます。

### 3 クライアントのためのヒーリング・プログラム：目標と価値観

「常に心の軸がブレないようにしたい」というクライアントの希望に、心がブレてしまうパターンに隠された『恐れ』を解放することを設定しました。

また「お金のトラブルを引き寄せてしまう自分の物質的不足感への恐れ」を意味していると感じました。

「恐れ」の原点に辿り着くことも必要であると感じます。

結婚生活の中で、夫は安定した公務員でありながらギャンブルが好きだったという嗜好に借金を繰り返し、妻であるNさんが度々肩代わりしてきたこと。夫の向かう課題を背負ってしまったことや、子供を抱え妻であり母であったNさんの24時間労働という看護体制の中で、家族の心の変化や問題を観察しきれていただろうか。

今、娘も夫と同じように「借金の返済力のない実態」を引き起こしたことで働く母親として、離婚した親として子供に影響を与えていないだろうか、自分サイドからむきあう時間に今回のフラワーエッセンス療法を当てて、今後の子供達の生き方にも意識を変えた生き方に辿り着くために大きな分岐点になっていると思います。

そして、「お金」という物質を本当は自分自身がとう捉えているのか

本当の豊かさとは何だろうか、今は立ち止まって家族とともに考え直す時期であるのかもしれないと感じます。

最初に取り込むべき目標は、Nさんと部屋を共有する生活が始まった娘との関係です。

日々のカラダの疲れをしっかりと取るためにも、娘との関係の修復はエネルギーに影響を与えるために急がれます。

中期的には昇進をNさんがどう捉え、チャレンジしていくか実務まで3ヶ月あるのでそれまでにリーダーとしての意識をつくって「自信」を取り戻していくことが目標です。

カルマに対応する目標は、幼少時代からのトラウマの克服です。

争いの絶えない家庭環境の中で、Nさんは「常に保護されている」という安心感が持てなくなりました。家庭で安心して暮らすことは社会という外界において自信を持って他者とのリレーションシップを築くことが出来ます。昇進というタイミングもNさんの新しい人生を切り開く大きな分岐点です。「恐れが勇気に変容する」ことはカルマを乗り越える大きなチャレンジとして掲げられます。

#### ・ 前世療法の体験談

「魔女狩りの体験が、上のポジションを拒んでいる」

「長男が憎くて殺したことがある」

前世をみる退行セラピーにもフラワーエッセンスは作用するため、一つ一つに対応するものや

または「過去こうだった」という他者からの助言に振り回されずに生きていくためのフラワーエッセンスを

処方することも考えられると感じます。

## 4 エッセンス療法およびセラピープロセスの詳細

### ■初回セッション

a) 2011年3月24日／120分セッション（20分アートワーク 90分カウンセリング）

#### b) 観察された変化と使用したフラワーエッセンスとの関係

今までバッチフラワーレメディのセミナーに通いながら服用しています。

フワフワした感覚がずっとつきまとい危険を感じていたようですが、クレマチスはNさんを助け危険は感じられなくなったそうです。

抜歯した直後のセッション。

初回はまず何枚かアートカードを用意し、好きなものを選んで頂きました。Nさんは2枚のカードを選ばれました。

そのカードが対局して観えました。AとBとして添付しています。どちらが重要視されるのか印象を聞いてみると教会のタイル絵のBにNさんの希望や欲しているモノであると感じました。Bの絵に神聖な空間を感じていて、ご自身のハートや魂に神聖なモノが存在していることに気づかずにいることを理解出来ました。

仕事には満足しているというNさんにプライベートのことを尋ねると、家賃の滞納で一人暮らしを続けられずに出戻って来た娘と部屋を共有し始めたと話してくれました。さらに、娘の借金返済のためにクレジットを自らも使い始め不安を抱えていました。離婚した夫と同じように借金をつくり、また自分が返済する。再び恐怖心が戻ってきたと話してくれました。

とはいえ、外見は流行のものを必ず取入れていて敏感な方で、内面よりも外見を重視するようにも見受けられます。

#### c) 考えられる他のセラピー

Eさんが引き寄せる恐怖心には、いつから「恐れ」を抱えてしまう癖があるのか退行セラピーが大切に感じられました。

また、パートナーとの信頼関係を築く上で家族や仕事の現場においてリレーションシップの問題があるので、占星術によりカルマを認識していくことも良いかもしれないと感じています。

#### d) 最新セッションで浮上した問題や概念、新しい目標

幼少時代から母子関係でトラウマを抱えていて、母には自分から連絡することはないと語りました。実母からの電話は常に「お金を貸してほしい」この内容に嫌気がさしています。

両親の間では、常に「お金」の話題による言い争いが絶えずEさんは今でも大きな声が苦手です。

そしていつも自信の無い子供だったと言います。この頃から「自信が無い」という問題が浮上していたのです。

安心して母性に包まれる感覚が無く成長してきたので、Eさん自身その欠乏感を埋めるために物質を求めているように感じるところがありましたので「母子関係の修復」を癒すことから始めます。

東関東大震災後のセッションでしたので、看護師のNさんには『奉仕する』ことの深い認識が必要ではないかと考えました。看護という職業を考えますと災害時であっても常に人の命が優先されます。家族の心配も抱えながら、どんな時でも「奉仕する」ことに魂が喜びを感じられるようなタイミングが差し出されました。

## e) クライアントの次ぎの成長サイクルのためのセラピー戦力

《今回処方するフラワーエッセンスについて》

マリポサリリー：母親とNさん。Nさんと娘。母子関係の強化を意図しています。

Nさんの母も職業婦人であったので、家族への与える影響を妻として母として共有しているものがあると考えます。

グリーンクロスゲンチアン：自然災害時であっても、自分が看護の仕事へ集中して働きに出かけられること。奉仕出来る状況とはどんな心理作用が根底にあってできることなのか、大震災のタイミングでしっかり向き合えるようにと考えます。

## f) フラワーエッセンス・フォーミュラ

高い精神性と内在する『恐れ』を調和させるために、対極するエネルギーを取り扱います。

陰陽のバランスをとり、より高い仕事の実務に向けてNさんの奉仕を助けます。

どちらの花も太陽に向かって開き、杯の形に観えます。マリポサリリーは太陽神軽装を守り、中心をしっかりと持ち第7チャクラへ繋がりを感ぜられます。グリーンクロスゲンチアンは四大元素との繋がりをしっかり繋ぎ、ハートチャクラを開いて第7チャクラと繋がって奉仕により深く洞察力を与えるでしょう。

## g) フラワーエッセンスの使用方法 一日3回8滴服用

## h) エッセンスの選択プロセス

アートカードを選んで頂いた時、[Aは今の家庭環境である]と語ってくれました。

それは「長い時間かかって創りあげて来た今の家庭」苦しみを排除して得た安心感であることを理解しました。

[Bは神聖な空間]と語り、Bさんはまだ自分の存在が神聖な部分と繋がっていないと気づきました。

問題は、カルマから逃げ出さずに立ち向かって乗り越えた先にある再生と喜びの獲得にあります。まだ気づきが起きていないため、マリポサリリーとグリーンクロスゲンチアンが精神性と物質世界の現実を繋ぐ橋になっているだろうと2枚のカードから観察し選択しました。

## ■2回目セッション

### a) 2011年4月24日／90分セッション（90分カウンセリング）

### b) 観察された変化と使用したフラワーエッセンスとの関係

実母との関係はまだ変わりません。電話をしてみても良いかなと思うだけで「お金を貸して」という時しか連絡して来ない母に対して許すことはまだ難しいと思われま。Nさんと娘の関係は変化がありました。今まで娘を守っていたと思っ

ていましたが、本当は守られていたことに気づいたと語ってくれました。娘が家にいるようになって、家事を代わってやってくれ部屋や、キッチンが整理されるようになりました。娘との関係で気づきがあったことで感謝のキモチが増えました。前向きになってきて友人とスピリチュアルなことを話し合えるようになったと言います。

眼に見えない世界や癒しは、介護の面でも有意義に働くことでしょう。

マリポサリリーやグリーンクロスゲンチアンはNさんに安心感を与え、他者に伝えていく様子に大きな変化をもたらしました。

### c) 考えられる他のセラピー

ヨガ、温泉療法は続行。マクロビオティックの食事を取入れ始めました。

### d) 最新セッションで浮上した問題や概念、新しい目標

職場で昇進の辞令。胸の動悸が始まりました。周りの人を差し置いて、私に勤まるのか自己卑下する態度が観られます。前の病院でも昇進の話が上がり自ら逃げ出して退職したそうです。直面する成長のタイミングから逃げ出す癖が観られません。

自ら自分の可能性に扉を閉じてしまうのは「責任」を負いたくないことと、何かから逃げる「恐れ」の原型に向きあうタイミングを示していますので、「恐れ」の根源にふれるセラピーを目標にしました。

### e) クライアントの次ぎの成長サイクルのためのセラピー戦力

《今回処方するフラワーエッセンスについて》

**ミムラス**： 二つの具体的な直面する出来事、『昇進』『お金のトラブル』に対処出来る

**パーペイン**： 自ら作り出す 固い鎧を壊し、いろいろな意見を沢山の人達とコミュニケーションを取ることで、柔軟な考え方を学び統合して、大きな器に成長する

**カルフォルニアポピー**： 内的痛みから逃避するパターンを受け入れるように。霊的なセラピーなど外へ求めるのではなく、自らが持つ光りに気づき自分自身の霊性と調和出来る

**ラクスパ**： リーダーとしての仕事を重荷と感じてしまう傾向を癒す

「責任」にプレッシャーを感じるのではなく、創造性を発揮してより良い成長を促す。チームワークで喜びをもたらすことを実感していける

### f) フラワーエッセンス・フォーミュラ

女性性を解放して、創造性を養うことで自己を受け入れる（グランディング）

### g) フラワーエッセンスの使用方法

一日2回7滴服用 胸に塗布

## h) エッセンスの選択プロセス

自己卑下する態度が前の職場から改善されていないことをセッションの中で観察し、自ら作り出す固い殻を作ってしまった時点を探ること、癒すことが必要と直感しバッチの**ミムラス**を選択。**パーペイン**はドイツのゲッツ・ブローメ医学博士の文献から選択しました。**カルフォルニアポピー**は過去の影響に拘り「お金」の使い方を学び切れていないと観察し選択しました。これはNさんの外見が見せる流行を追うファッションに、借金を背負う立場には似合わない違和感を感じました。家の中では大変なのに外に対してはよく見せる傾向があるのかもしれないので、**カルフォルニアポピー**は内面に光を当ててのではないかと文献から選択しました。真のリーダーとは太陽に父親のように包容し続ける存在になることを**ラクスパー**は教えてくれると文献から選択しました。職場でのリーダーシップだけではなく、離婚後Nさんは父親の役割も背負ったので家庭内でもリーダーとして部下達、子供達に安心感を与え続けられることをチャレンジと感じました。

## ■3回目セッション

a) 2011年5月27日 90分セッション（90分カウンセリング）

### b) 観察された変化と使用したフラワーエッセンスとの関係

- 娘の精神的な成長が観られる
- 娘と思考や、気になるところが一致するようになった
- 言葉にしなくても娘の行動や、出来事が改良されていたりする
- 「幸せは一人一人見つけて、満足すると社会全体が幸せになる」こう感じていた小さい頃からの信念を思い出した
- 人を愛する心、動植物に癒されていると感謝する気持ちでいられる
- 「ありがとう」「愛しています」「許して下さい」「ごめんなさい」と唱えるようになった

自分の意識の変容と家族への観察が鋭くなってきました。自然とマントラムを唱えることを取入れています。この行動は自分の超意識の活性化によってメンタル体を刺激し繋がり、現実を変えようとしているNさんの「愛」を感じる事が出来ます。フラワーエッセンスが、物質世界は自分の思考や意識から体現されるものということをNさんに思い出させ実行させています。素晴らしい変容だと感じます。

「恐れ」に関しては昇進の時期が近づくにつれて酷くなり「他者の評価におびえ考えるだけで自信が無くなる」と語っています。また、離婚したことと向き合う時間を持ちました。「笑顔でいられないなら別れた方がいい」という感情が支配していたそうです。夫の借金や娘の借金に、Nさん対応することは借金を肩代わりすることでした。モノごとを解決する時に相手に学ぶ時間を与えていないことに着目しました。

「お金」が全てを解決してくれる。

この意識がNさんの男性性優位な行動パターンであるのだと観察できました。

### c) 考えられる他のセラピー

ヨガ、温泉療法、マクロビオティック食事療法続行

#### d) 最新セッションで浮上した問題や概念、新しい目標

- 朝起きると胸が痛む
- 人が少なくなる夜勤に緊張している
- 管理職へのプレッシャーが高まっている
- 「お金」に縛られている母と夫の共通点を見つけたら、二人とも養子として育ち実母の愛を知らないことに気づいた

「自信」を取り戻す

娘に引継がれている家族の遺伝的機能不全に対応

#### e) クライアントの次ぎの成長サイクルのためのセラピー戦力

《今回処方するフラワーエッセンスについて》

**バターカップ**： 他者からの評価をいつも気にして過ごすパターンを解放して、自分を過小評価せず昇進の話を受け入れられるようにする。また離婚を選ばなければならなかった魂に癒しをもたらす

**ラーチ**： 自尊心を高めて、新しいことにチャレンジする恐れやリスクを負うことへ勇気を持って挑められる

**ジニア**： 夫と暮らした時に求めていた『笑顔でいられること』Nさんは家族の中に笑いを取り戻して、大変なときも笑い飛ばせるように、深刻にならないように

**ジョシュアツリー**： 実母、夫、娘と引き寄せる「お金」に対する負のエネルギーと、それに巻き込まれるNさんのパターンを打ち破るために。もう一度「お金」がポジティブなエネルギーへ変換される

#### f) フラワーエッセンス・フォーミュラ

自己と社会性を繋げて安定させる

#### g) フラワーエッセンスの使用方法

一日1回9滴服用 胸に塗布

#### h) エッセンスの選択プロセス

別居、離婚という決断に至る生活の中で暮らしの水準や思考、他者との比較すべき考え方の見直しの必要を感じ取り

**バターカップ**は助けになると直感しました。Nさんの自尊心の低さは基本的には『恐れ』からきていると思いますが、昇進に喜びが勝らない。自信の無さは問題があり直面する壁に立ち向かう勇気が必要であると観察出来ます。ラーチが軽やかに不安をはね除けて**ジニア**と組み合わせることで、恐れよりも喜びが待っていることに気づく助けになると直感しました。今までNさんにとって家族の借金やお金に縛られている機能障害を、同じ「お金」で解決して来ましたが、モノごとは根本的に正すことを覚え、逃げないで学びを得るために**ジョシュアツリー**は昇進したあとの『責任』や『恐れ』の問題を克服するカルマとして乗り越える助けになると文献から考え選択しました。

## ■4回目セッション

a) 2011年6月26日 90分セッション

(10分ドリームセラピー-30分ヒーリングタッチ 50分カウンセリング)

b) 観察された変化と使用したフラワーエッセンスとの関係

- 海の夢が増えてきた
- 胸の痛みの回数が減ってきた
- 禅の言葉に興味が出て来た
- 職場でも人を観察し、距離感を学んでいる
- 「無償の愛が最終目標」と理解出来た

ハートチャクラへの刺激を感じているのか、肉体の症状が回復してきているようです。

言葉の力をより高い意識へと向かわせています。神聖なる禅の言葉との出逢いに生活や職場でのリレーションシップを学びつつあるのは、人への興味や一方的な見方からの解放を示していると思われます。ラーチやジニアは「恐れ」を軽くはね除ける助けになっていると感じました。創造力の源である『海の夢』が増えているのもNさんが自分を取り戻しはじめていることと、水のいう「恐れ」が原点にあることを意味します。幼少期の両親の言い争う言葉がトラウマになっているので、ジョシュアツリーやバターカップが禅の言葉を引き寄せ、言霊はこうして神聖な言葉に置き換えられているようです。メンタル体への刺激となって自分自身の中の神聖な部分を解き放ち始めていると観察出来ます。

c) 考えられる他のセラピー

ヨガ、温泉療法、マクロビオティック食事療法続行

d) 最新セッションで浮上した問題や概念、新しい目標

- 上司に対して否定的な見方
- 他者の立場の理解が一方的である
- 外見的偏見や他者の目に恐れ、全てを投げ出して奉仕する気持ちにはなれない
- ハートチャクラ、第6チャクラの閉塞

ご自分が学んでいるフラワーエッセンスやヒーリングタッチ、ヨガは自分では効果を感じていますが家族や患者さんにどう生かすか、患者さんのご家族への影響まで広がることはありません。医療の現場で最も必要であると思われるヒーリングの力に気づきながら躊躇が観られます。ホリスティックな考えを意識し、社会でも生かすことを目標にします。

e) クライアントの次ぎの成長サイクルのためのセラピー戦力

《今回処方するフラワーエッセンスについて》

**ウォルナット**： ネガティブな感情を吐き出す者からマインドコントロールされないように、昇進というチャンスの大きな分岐点において、しっかり自分の考えを支えられる

**ゲンチアン**： ちょっとした問題に再び自信を取り戻し不安を抱えず、自分の殻に閉じこもらず核に繋がってられる



**セージ**：幼少から人前に出ることが苦手。「自分を表現する」ことを学ぶためにあるカルマを受け入れて、モノごとの解決には自分の自尊心を持ってコミュニケーションする勇気が必要だと気づく。モノごとの捉え方、人への信頼感など、どのように意識を変容出来るか大きな分岐点を支える

**アイリス**：閃きや使う言葉、相手を思いやる態度に気づく。全ての人達に前向きに想像力を働かせ違う価値観の中に苦しまずに広げたモノの考え方や体験の積み重ねから、管理者として大きく成長する

#### f) フラワーエッセンス・フォーミュラ

創造性（アイリス）を中心に大きな分岐点の土台作り

自分を信じる力、カルマを乗り越える

#### g) フラワーエッセンスの使用法 一日1回6滴服用

#### h) エッセンスの選択プロセス

上司と部下を繋ぐ管理職に就くNさん。上司との関わりに不安を抱き始めていました。

自分が今度は部下から批判されるかもしれないが、職場の目的はいつも一つで患者さんのために精一杯奉仕することなのでそこからブレないように目的に意識を集中させ、その為に自分を表現することとしてウォルナットやアイリスはNさんの大きな分岐点に揺るがない土台を作ってくれと閃きました。経験のない管理職は、心情的に安易に部下の方へ引っぱられがちですが、上司の立場を体験することは後に全体に役立つので、逃げ出す癖があるNさんをゲンチアンが支えてくれると選択しました。仕事上では人の上に立つことを体験していませんが、家庭の中で苦しい状況を乗り越えて来ました。逃げ出さないで乗り越えるために最大限の創造力を発揮出来るよう人生の経験と照らし合わせて中年期の大きな分岐点をセージとアイリスによって想像を超えた行動にシフトすることを直感し選択しました。

### ■5回目セッション

#### b) 2011年8月10日/90分セッション

(30分ヒーリングタッチ 60分カウンセリング)

#### b) 観察された変化と使用したフラワーエッセンスとの関係

- 実姉の鬱状態を察知、姉の仕事のストレスを理解し解決のために話し合い、協力する
- 実弟は同居から独立。互いの自立の時を理解する
- フラワーエッセンスやヨガを始めた人がいる
- 夢を見ることで、自分の心の観察が出来るようになった
- 自分が影響を与え、周りの人が生き方を見直すキッカケとなっている
- 外見も流行を追うより、手づくりのものや自分が本当に気に入ったものを身につけるように変化している
- 第7チャクラの閉塞

実の姉や弟との関係が大きく変わりました。Nさんの場合家族が安定することは何よりも大きく自分を支える土台になると、フラワーエッセンスは気づきを与えました。はじめに『直感力を学び、看護に生かしたい』とセラピーを求めていらしたので家族のためにその目的は達成されました。家族の機能不全にも眼を向けて、姉や弟との関係や娘との関係も変化して来ました。

#### c) 考えられる他のセラピー

ヨガ、温泉療法、マクロビオティック食事療法続行

#### d) 最新セッションで浮上した問題や概念、新しい目標

実母との関係の修復

#### e) クライアントの次ぎの成長のためのセラピー戦略

##### 《今回処方するフラワーエッセンスについて》

**ミムラス**：実弟の自立に対し、家の中に自分のスペースが出来ることはいつでも自分を取り戻せる神聖なスペースとして大切な部屋となりますが、同時に支出の面で「恐れ」があるとNさんは言います。夫と離婚してから支えとなって来ていた実弟がいなくなるという「恐れ」も感じられます。

**スターチSSL**：時分から切り開いて昇進を受けとめられたNさんですが、昇進には昇給もついてくるにもかかわらず、未だにお金の心配がついて回ります。インナーチャイルドの問題として、幼い頃の両親の争いは与えられるべき『愛情』を感じられずにいたNさんを再びトラウマへと引き込みます。愛情が埋められずに「恐れ」はなかなか切り離すことが出来ず、お金の心配がいつも満たされないNさんの愛を癒してくれるでしょう。

#### f) フラワーエッセンス・フォーミュラ

『恐れ』の原型

#### g) フラワーエッセンス使用方法 1日2回 5滴服用

#### h) エッセンスの選択プロセス

なかなか改善出来ない母との関係について、Nさんからは電話もしていないという。

他の姉、弟、娘との関わり方の変化は大いに見られましたが、実母との関係の修復が出来ずに愛情不足による、お金に対する「恐れ」を招くパターンを解放することが、インナーチャイルドの癒しに感じ**ミムラス**と**スターチSSL**を選びました。

#### 後日談)

セッション終了後 実父が2011年内に他界し、一人残された母を引き取り今でも同居が続いています。

## 5 クライアントの魂のプロセス

Nさんの場合、夢日記をセッションの前から習慣化され日々の記録を綴っていました。記録ではありましたがこのプログラム中に、感想も付け加えられるようになりました。自分で自己とむきあう習慣がついたのだと思います。日記は日付がバラバラで整理しにくく戸惑いましたが、忙しい看護体制の中で「精一杯、協力したい」Nさんの気持ちが伝わっていました。

日々、気になる日常の中でスケッチをお願いしていましたが、ご自分で創造したモノをつくることは苦手なようです。3枚とも家にある購入したものなどがモチーフでした。興味は内にあり外側ではないことも理解しました。素材はペンを選びました。デザインの世界にいた私の感覚では、その3枚の絵を拝見し輪郭はハッキリしていることを示していると感じられます。面や奥行で捉えるにはもう少し時間がかかるでしょう。表現方法は豊かに時間をかけて学ばれると、今まで気づかなかった自分や他者の裏側の部分も創造出来るようになりホリスティックな意識が確立すると思えました。一定の枠組みからも解放され広がりを持つことが出来、立体的に全てのプロセスも統合されやすくなるかもしれません。

## 6 クライアントの魂の成長の分析

a)

Nさんの場合、魂の変容の中で第3段階に一番発展が観られました。このプログラムをスタートする前からバッチフラワーで理解と認識まで得ていらっしゃいました。しかし、家族がトラブルを起こすことや自分を自己卑下するパターンに何が原因であるか探そうとまでしていなかったことが私が一番気になったことでした。きっとカルマと向き合わなければならない段階にきていることを判断出来ました。

Nさんはカウンセリングが初めての体験でしたので、Nさんの深いところのトラウマを探るために必要でした。ジョシュアツリーはNさんの『恐れ』の原点と向き合わせ「お金の欠乏感」という『愛』に満たされない家族の遺伝的、機能不全のパターンを見つけ出し癒しました。

「気づきの危機」は、責任有る職務を受け入れることで、痛みを伴いながらも今回は逃げずに一步ふみ出すときにありました。以前の逃げ出してしまった間違いを、今回はフラワーエッセンスがサポートしながらチャレンジして乗り越えました。人からの評価や自己卑下する態度『恐れ』に対し免疫力を付けていく。胸の動悸はNさんの緊張を表現しましたが、バターカップ、パーベイン、ミムラスはNさんに勇気を与えました。

途中で気づいた最終目的地は無条件の愛という気づき。内側の強さや自尊心を身につけて自分が無条件に奉仕する喜びと出会うことかもしれません。今学んでいるヒーリングケアのワークやヨガ、フラワーエッセンスなどを持って伝えられるほどに成長することも看護の仕事を通じて、必要になってくるかもしれません。

b)

Nさんはメタレベル4を重視しセラピーしました。震災後であったことと。Nさんが看護師という立場にいたこと。それでいて家族が癒されていない状況があったので、メタレベル6のカルマも意識しながら進んでいきました。

プログラムでは、バターカップとスターチスルが重要でした。「離婚を選ぶ」「他人の評価に怯える」この行動は幼少からの母子関係で影響されてきた「愛の欠乏感」によるものだと観察出来ました。物質のお金、ファッション、家の中が片付けられない…など物質で補う習慣はNさんにも観られました。メタレベル6ではジョシユアツリーが重要でした。養子で育った実母と夫。離婚した両親の娘。この3人の物質主義とNさんの関係。『恐れ』が引き寄せる家族の間違ったパターンへの気づきがNさんの目標です。同情心や洞察力がアイリスのサポートで開花しました。

西洋占星術の出生時のホロスコープ（添付）は、Nさんのカルマ（土星の位置）が第二ハウスにあり

『私の価値』に配置していました。現世でのカルマは『課題』でもあり自分を見失うと『所有』に拘ってしまいます。『所有』を手放すと「お金」も他者の為に使われることを学ぶことが出来ます。太陽と月、金星の配置で読みとれることは「健康に関係することで他者に愛をもって伝えていく」魂を意味し、その為に「お金」が存在するようになります。

プログラム終了後に実父が他界し、実母への奉仕を習得中です。ご自身は剣道で鍛えたカラダ、丈夫で病気は無縁ですが体験の無い分、理論上の体験にかたより閃きも少なくなります。

人が何故病気になるのか、心の病いも含めて向き合うと、現場での閃きも多くなるかもしれません。人の痛みを深く理解することは、思いやりと同情心も芽生え看護する仕事に大変役立つかもしれません。

病気ではなく、病気の方の人生に眼を向けることが増えると思います。

## 7 アーキタイプレメディの考察

《カリフォルニアワイルドローズ》家庭環境において、魂が宿った東北では親族ないでの養子縁組があります。

自分も離婚を体験したカルマを持っています。バッチのワイルドローズには、根深い問題を抱えている人に処方されます。Nさんの場合、東北という雪深い青森で3月生まれ。まだ春の訪れも遠く光りが弱く、夏も短い条件なので、より光りの強いカリフォルニアワイルドローズをアーキタイプに選びます。

奉仕の立場で何度も繰り返す、家族の「お金のトラブルにNさんが毎回工面してしますパターン」は、家族の本当の痛みに関心であり情熱をかけて癒す必要を示していたものと観察出来ました。看護業務は実労働がハードであるから、きっと職務をやりこなすだけで精一杯と想像出来ました。これは、バラ科が改良され続け度重なる接ぎ木によって広がり、原点が見えなくなるジェスチャーに似ています。

プレッシャーがかかるとき、胸の動悸に表現されるハートチャクラとの関わりからも一致します。カリフォルニアワイルドローズのピンク色と愛を表現するバラの本質が、魂の長い輪廻の中で混乱を癒すと直感しました。カリフォルニアワイルドローズを中心に、フラワーエッセンスを組み立てて、ダイナミックに動きを加えたら魂の第4段階において、より高いレベルで『奉仕』を捉えられる段階に進むことが想像出来ます。

## 8 プラクティショナーの省察

私にとってNさんのケースは与えられているカルマの大きさを感じ、Nさんのやるべき仕事も、深く大きなことなのだ理解出来ました。そして、現世で他者への奉仕をすることで魂も喜びを見出せるのではないかと感じられました。

私たち女性も社会で活躍することが許されました。

家族を抱えた母であっても『世の中の母』になるべき人もいます。家族を持った人ならば、そのバランスを常に求められると思います。家族はそういう方の一番の理解者です。

結婚を夫婦がソウルメイトにまで成長するための儀式のようなものと捉え、式を開くのは神に誓いを立てること。

離婚した夫婦は、二人でソウルメイトまで成長出来なかった結果。増々、社会で女性の働き手が必要とされる時代かもしれませんが、夫婦の絆は子供たちに予知出来ない不安な未来も与えます。

少し前までは母親が若死にすると、後家を貰い子供たちが育てられました。

戦争で沢山の男性が他界し母子家庭が増えた時代があります。今は別な理由で母子家庭が増えました。

家族や民族の中で、同じようなパターンが習慣化することに、ジョシュアツリーは戦後の日本人に必要なレメディーになるかもしれないと今回のセッションを通じ感じました。